

2020 年度第 3 回価格審査会の開催について

2020 年度第 3 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2020 年 6 月 15 日(月) ~17 日 (水)	
場 所	新型コロナウイルスへの感染防止策が引き続き必要とされていることから、上記期間中のメール会議とした	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長
	江川 浩	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
	桜井 力	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	鈴木 孝之	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 工事予算計画室 室長
	柳 泰彦	株式会社日本設計 コスト設計部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：康広 誠己
	建築調査部	部長：足利 全教、次長：渡辺 弘一
	監査審査室	室長：後藤 裕
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2020 年度第 2 価格審査会議事録(案) 確認

2020 年度第 3 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」7月号、「Web 建設物価」7月号、推進工事用機械器具等基礎価格表、「土木コスト情報」夏号、「建築コスト情報」夏号の価格動向
・	価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 レディーミクストコンクリート（横浜、川崎市、魚津、黒部、豊橋、大市、由布）、コンクリート用骨材(宇和島、中津)、道路用砕石(宇和島、中津)、仮設・土木用木材(東北各都市)、石灰(岡山、広島)、電線類(全都市)、情報ボックス用管路材(全都市)、燃料油:軽油ローリー渡し(那覇除く各都市)、鉄スクラップ(全都市)、銅スクラップ(全都市)など。 【土木コスト】 区画線工:溶融式（全都市）、排水構造物工（近畿各都市）など。 【建築コスト】 軽量鉄骨下地工事（全都市）、内装ボード工事（全都市）、屋根及びとい工事の一部（全都市）、金属工事の一部（全都市）など。
・	価格が下落した資材（工事費） 【Web 建設物価】 月積み契約分鉄鋼販売価格 H形鋼(全都市)、異形棒鋼（東北、九州、那覇を除く各都市）、ねじ節鉄筋（東北、北陸、九州、那覇を除く各都市）、平鋼（中国、四国、九州除く各都市）、H形鋼（全都市）、鋼板（九州除く各都市）、市中切板(大阪、福岡除く各都市)、コラム BCR295(新潟、大阪、名古屋、那覇)、レディーミクストコンクリート（宮古）、コンクリート

型枠用合板（中部、近畿、九州の各都市）、ストレートアスファルト（那覇）、燃料油:灯油スタンド渡し（北海道、関東の各都）、アルミスクラップ（那覇除く全都市）など。

【土木コスト】鉄筋工（那覇）、区画線工:ペイント式（全都市）、橋梁塗装工の一部（全都市）、構造物とりこわし工（全都市）、コンクリートブロック積工（全都市）、表面被覆工（全都市）表面含浸工（全都市）、連続繊維シート補強工（全都市）、剥落防止工（全都市）、漏水対策材設置工（全都市）、FRPシート設置工（全都市）、バキュームブラスト工（全都市）、道路反射鏡設置工（全都市）、仮設防護柵設置工（全都市）、抵抗板付鋼製杭基礎工（全都市）耐圧ポリエチレンリブ管設置工（全都市）など。

【建築コスト】鉄筋工事（甲府、長野除く関東各都市、那覇）、型枠工事（東京、甲府、長野除く関東、新潟）、土工事の一部（全都市）など。

2. 比較資料

- ・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	<p>いくつかの地区で生コン価格が上伸した。これは、かなり以前から協組による値上げ交渉がこの時期になってようやく合意達成された個別事例ということか。また、生コン価格の全般的な市場動向としては、コロナ禍の影響により出荷量は激減しており、かつ先行き需要不透明のため、現状価格で横ばいということか。</p>	<p>今月上伸した地区における背景は、協組が以前から取り組んでいた値上げが浸透したものである。4月の全国生コン出荷量は前年同月比7.3%減だが、増加している地区もあるため、一概に激減とは言えない。価格動向についても、地区ごとの状況によるところが大きく、協組の値上げ姿勢が強い地区などでは強含みとなっている。</p>
審議 2	<p>鉄スクラップが全国規模で上伸した理由として、市中発生量の減少による供給量不足の状況下において、海外向け需要は堅調であることが挙げられている。【質問 1】堅調になってきた海外需要国とはどこか。堅調となった背景は、コロナ禍による経済活動制限を解除し始めた地域・国々ということか。【質問 2】市中発生量の減少という点について、再生クラッシュランの東京地区では、「解体工事からの廃材発生量は例年並みで、メーカー在庫はやや過剰気味」とあるが、再生クラッシュランと鉄スクラップとでは、解体工事からの廃材発生量の仕組みが異なる状況のものとして解釈すべきなのか。</p>	<p>【回答 1】鉄スクラップの主な輸出先は、ベトナム、韓国、台湾などです。アメリカなどの輸出国において経済活動の停滞から輸用量が減少したため、日本への引き合いが増えた。</p> <p>【回答 2】再生クラッシュランの原材料となる廃材は、主に建設工事（解体工事）から発生する。鉄スクラップは、建設工事（解体工事）以外に製造工場からも発生するが、この製造工場からの発生量が大きく減少している。</p>

審議 3	<p>建築コスト情報のコンクリート工事打設手間で今後の動向説明において「外国人労働者入国規制による人手不足の懸念」が挙げられている。これは、他の市場単価(例えば、鉄筋工、鉄筋加工組立工、普通合板型枠工など)にも共通して言えることか。それとも技能レベルの高低があるため、外国人労働者問題は、コンクリート工事打設工において特に懸念されることなのか。</p>	<p>専門工事業全般について言えることである。鉄筋工、型枠工、コンクリート工など技能職種において、外国人労働者は主に補助的作業に従事している場合が多く、現場では欠かせない人材となっている。今回の調査のなかでは、入国が困難な状況下で、特にコンクリート工事業者から人材不足を懸念する声が挙がっていたが、これは必要とされる技能の差によるものではない。</p>
審議 4	<p>釧路・帯広・札幌地区のヘビーH3が最大変動率166.7% (約2.6倍) となっているが、大幅な増加となった理由と過去変動率が100%を超える(2倍超)ことはよくあることなのか。</p>	<p>釧路・帯広・札幌地区のヘビーH3は元々の価格が他地区より安いため、大幅な上昇率となった。価格が安い地区においては、過去変動率が100%を超えることもあった。</p>
審議 5	<p>土木工事標準単価で採用している労務費は、公共工事設計労務単価を適用しているとあるが、この単価は2020年3月から適用されたものを利用しているのか。また、2020年3月から適用されている同単価は、2020年7月～2021年4月(1年間4回)まで適用されるということによいか。</p>	<p>今号の単価は、2020年3月から適用する公共工事設計労務単価を適用している。2020年春号掲載単価からこの労務単価を適用しており、今後、労務単価が改定されるまでこの単価を適用する予定である。</p>
審議 6	<p>鉄スクラップは上伸していることから、異形棒鋼及びH形鋼については、ほぼ底値に近いとみてよいか。</p>	<p>異形棒鋼は電炉メーカー製品のため、鉄スクラップ価格が上伸した影響で、メーカーの販売姿勢が強まっており、需要低迷ながらも、目先横ばいとしている。異形棒鋼に比べて電炉製品の割合が低いH形鋼は、需要低迷の影響で販売店の売り腰も依然弱く、目先弱含みとしている。</p>
審議 7	<p>ひも付きで販売店間の受注競争が激化し下落とあるが、販売店間の受注競争とは何を指すのか。</p>	<p>切板(ひも付き)は、物件単位で商社を通じてメーカーへロール申し込みのうえ、調達したものを母材とした鋼材である。需要減少により、商社間の販売競争が激化し、下落した。</p>

審議 8	屋根及びとい工事で、材料費の上昇とあるが、理由として考えられることは何か。	スレートは、ここ 10 年程の間に出荷量が 3 分の 1 程度まで減少しており、こうした需要減を背景に採算性を確保するためメーカーは値上げを実施し、浸透した。また、金属屋根では施工面積当たりの使用量が限られる役物・金物などが同じく採算性確保の点から価格が見直された結果、上伸した。
審議 9	労働需給ひっ迫に伴う専門工事業者の値上げが浸透し上伸とのことだが、躯体工事が全般的に需要低迷に伴う受注競争から下落となっているのに対し、仕上工事はまだその兆候はないということか。	躯体工種については、需要のピークが過ぎ、需要低迷に伴う競争により価格が下落している状況にある。金属工事、内装工事といった仕上工種では手持ち工事を中心に稼働率を維持、人手不足も背景として新規契約物件から専門工事業者の要求が通り価格が上伸した。しかし、先行きの需要については不安視する向きも多い。
審議 10	橋梁用伸縮装置などで、先月は見かけなかった「メーカー倒産」「メーカー製造中止」のコメントはコロナ禍の影響か。今後の流通において注視すべき資材等の情報はるか。	今月確認された「メーカー倒産」「メーカー製造中止」では、新型コロナは特に影響していない。新型コロナの影響で流通が滞っている資材は、現状では確認されていない。
審議 11	ストレートアスファルトの価格は、商習慣から 3 カ月ごとに見直しされるとのことだが、次月以降は下落の見通しなどあるのか。	元受けの仕切価格は 3 カ月前より引き下げられており、流通筋と需要家の次月以降の交渉においても、これまでの仕切価格の下落が強く影響するとみられるため、先行き弱含みとしている。
審議 12	異形棒鋼と H 形鋼はともに先行き需要動向に不透明感があり、これまでも同様の価格動向を示しているように見えるが、異形棒鋼は「目先、横ばい」、H 形鋼は「目先、弱含みの公算大」とあるが、多少なりとも市況に違いが見られるのか。	異形棒鋼は電炉メーカー製品のため、鉄スクラップ価格が上伸した影響で、メーカーの販売姿勢が強まっており、需要低迷ながらも、目先横ばいとしている。異形棒鋼に比べて電炉製品の割合が低い H 形鋼は、需要低迷の影響で販売店の売り腰も依然弱く、目先弱含みとしている。
審議 13	軽油、A 重油の最新値が建設物価指数と企業物価指数では上昇と下落と反対の傾向を示しているが、比較時点に相違があるためか。	企業物価指数は 5 月の調査結果である。建設物価と業界紙は同じように上伸していることから、調査時点の違いによるものと考えられる。
審議結果	「建設物価」7 月号、「Web 建設物価」7 月号、「推進工事中用機械器具等基礎価格表」、「土木コスト情報」夏号、「建築コスト情報」夏号の価格動向に問題はなかった。	